

論 点

1 新生児聴覚スクリーニング検査の推進

- ① 分娩施設に検査機器がないことにより受検できない環境にある児への支援
- ② 検査費用が高額なため受検がしにくい児への支援
- ③ 確認検査等、未受診の把握と確実な精査
- ④ 検査結果の把握、検査情報の関係機関同士（市町村 ⇄ スクリーニング医療機関 ⇄ 精査医療機関 ⇄ 市町村・療育機関）の円滑な情報連携の方法

2 地域における検査後の早期相談支援の充実

- ① 不安を感じる保護者がいつでも相談できる体制づくり
（支援を要する保護者の把握方法、支援機関窓口の明確化 等）
- ② 機を逃さない児への支援
（精査や療育への確実なつなぎと時期、支援に必要な情報とその共有方法 等）
- ③ サイトメガロウイルス感染症防止等、新たな予防的な視点

3 福祉・教育等難聴児の成長を見据えた包括的支援

- ① 療育を要する児の早期導入と教育までの切れ目のない支援